



Cisco Unified Video Advantage ユーザ ガイド、 リリース 2.2

User Guide for Cisco Unified Video Advantage, Release 2.2

2010 年 2 月 14 日

**【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。**

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップ
デートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合があ
りますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サ
イトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊
社担当者にご確認ください。

CCDE, CCENT, CCSI, Cisco Eos, Cisco Explorer, Cisco HealthPresence, Cisco IronPort, the Cisco logo, Cisco Nurse Connect, Cisco Pulse, Cisco SensorBase, Cisco StackPower, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco TrustSec, Cisco Unified Computing System, Cisco WebEx, DCE, Flip Channels, Flip for Good, Flip Mino, Flipshare (Design), Flip Ultra, Flip Video, Flip Video (Design), Instant Broadband, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, Cisco Capital, Cisco Capital (Design), Cisco:Financed (Stylized), Cisco Store, Flip Gift Card, and One Million Acts of Green are service marks; and Access Registrar, Aironet, AllTouch, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, Continuum, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Explorer, Follow Me Browsing, GainMaker, iLYNX, IOS, iPhone, IronPort, the IronPort logo, Laser Link, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, PCNow, PIX, PowerKEY, PowerPanels, PowerTV, PowerTV (Design), PowerVu, Prisma, ProConnect, ROSA, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1002R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco Unified Video Advantage ユーザガイド、リリース 2.2
© 2010 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2010, シスコシステムズ合同会社。
All rights reserved.



CONTENTS

CHAPTER 1

Cisco Unified Video Advantage の概要 1-1

概要 1-1

Cisco Unified Video Advantage 通話機能 1-1

関連マニュアルの参照先 1-2

CHAPTER 2

Cisco Unified Video Advantage のスタートアップガイド 2-1

Cisco Unified Video Advantage のセットアップ方法 2-1

ビデオ カメラの準備 2-1

Cisco Unified Video Advantage のインストール 2-3

Cisco Unified Video Advantage の起動と終了 2-4

Cisco Unified Video Advantage ウィンドウの使用法 2-5

Cisco Unified Video Advantage のコンソール 2-5

コンソール ボタン 2-5

デバイス アソシエーション 2-6

ローカル ビデオ ウィンドウ 2-8

リモート ビデオ ウィンドウ 2-9

ビデオ ウィンドウのサイズ変更 2-10

その他のビデオ ウィンドウのコントロールの使用法 2-10

Cisco Unified Video Advantage の設定の調整 2-11

Cisco Unified IP Phone のビデオ コール用設定の確認 2-13

Cisco VT Camera II のドライバと Cisco Unified Video Advantage のアップデート 2-14

CHAPTER 3

Cisco Unified Video Advantage での Cisco Unified IP Phone の使用法 3-1

通話の発信と受信 3-2

電話会議 3-3

通話の転送 3-3

通話の自動転送 3-4

保留と消音の使用法 3-4

パークされた通話の保存と再開 3-5

呼び出し通話のリダイレクト 3-5

CHAPTER 4

Cisco Unified Video Advantage のトラブルシューティング 4-1

ビデオの問題の解決方法 4-1

カメラ設定の一部がグレイアウトされてしまうのはなぜですか	4-1
ビデオ ウィンドウにビデオが表示されず、空白の画面にビデオ無効アイコンが表示される	4-2
リモート ビデオ ウィンドウの画像が二重になっている、またはゆがんでいる	4-2
Cisco Unified IP Phone の LCD 画面に「ビデオ帯域幅が使用できません」というメッセージが表示される	4-3
システム トレイにビデオ問題のアイコンが表示される	4-3
ビデオ ウィンドウに低信号強度が示される	4-3
通話中に音声聞こえない問題	4-4
ブート中の Microsoft Windows のハング問題	4-4
接続問題のトラブルシューティング方法	4-4
コンソール ウィンドウの接続線が破線になっている	4-4
Cisco Unified Video Advantage が Cisco IP Communicator に接続できない	4-5
システム管理者用の情報の入手方法	4-5
ログ ファイルのキャプチャ	4-5
詳細ログを有効にする	4-6



CHAPTER 1

Cisco Unified Video Advantage の概要

- 「概要」(P.1-1)
- 「Cisco Unified Video Advantage 通話機能」(P.1-1)
- 「関連マニュアルの参照先」(P.1-2)

概要

Cisco Unified Video Advantage は、Cisco IP Communicator（リリース 2.0 以降）およびすべてのビデオ対応 Cisco Unified IP Phone にビデオテレフォニー機能を提供します。

Cisco Unified Video Advantage と USB ビデオカメラを組み合わせると、Cisco Unified IP Phone または Cisco IP Communicator に接続されたシステムで、通話時にビデオ機能を利用することができます。

これは、他の Cisco Unified Video Advantage ユーザ、Cisco Unified Personal Communicator ユーザ、または Cisco Unified IP Phone 7985G などの他の Cisco Unified Communication 対応ビデオクライアントとの通話でビデオを使用できることを意味します。また、Cisco Unified MeetingPlace や Cisco Unified MeetingPlace Express、および Cisco WebEx の会議に参加している間もビデオを使用できます。



(注)

このマニュアルでは、Cisco Unified IP Phone に関する記述は、Cisco IP Communicator Release 2.0 以降およびすべてのビデオ対応 Cisco Unified IP Phone にあてはまります。どの Cisco Unified IP Phone がビデオ対応かについては、システム管理者に問い合わせてください。

Cisco Unified Video Advantage 通話機能

Cisco Unified IP Phone でサポートされる多くの通話機能は、Cisco Unified Video Advantage を通じてビデオと共に利用できます。次に、ビデオを使用した電話機能の例を示します。

- 通話の発信と受信
- 通話の転送
- 通話の自動転送
- 電話会議
- 保留と再開
- ビデオと音声のミュート
- 通話のパーク
- 通話のピックアップ

Cisco Unified Video Advantage が自分のシステムまたは通話相手のシステムで実行されていない場合、通話はビデオのない通常の電話と同じように機能します。

関連トピック

- 第 2 章「Cisco Unified Video Advantage のスタートアップ ガイド」
- 第 3 章「Cisco Unified Video Advantage での Cisco Unified IP Phone の使用方法」

関連マニュアルの参照先

この製品では、次のマニュアルをご利用いただけます。

- Quick Start Guides for Cisco VT Cameras
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/prod_installation_guides_list.html

この製品に関連する製品について、次のマニュアルをご利用いただけます。

- Cisco IP Communicator のマニュアル
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5475/products_user_guide_list.html
- ご使用の Cisco Unified IP Phone のマニュアル
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html



CHAPTER 2

Cisco Unified Video Advantage のスタートアップガイド

- 「Cisco Unified Video Advantage のセットアップ方法」 (P.2-1)
- 「Cisco Unified Video Advantage の起動と終了」 (P.2-4)
- 「Cisco Unified Video Advantage ウィンドウの使用法」 (P.2-5)
- 「Cisco Unified Video Advantage ウィンドウの使用法」 (P.2-5)
- 「Cisco Unified Video Advantage の設定の調整」 (P.2-11)
- 「Cisco Unified IP Phone のビデオ コール用設定の確認」 (P.2-13)
- 「Cisco VT Camera II のドライバと Cisco Unified Video Advantage のアップデート」 (P.2-14)

Cisco Unified Video Advantage のセットアップ方法

次の作業を順序どおりに実行します。

- 「ビデオ カメラの準備」 (P.2-1)
- 「Cisco Unified Video Advantage のインストール」 (P.2-3)

ビデオ カメラの準備

通話でビデオを利用するには、Cisco Unified Video Advantage と共にカメラを使用する必要があります。システム管理者からビデオ カメラが支給され、この項で説明されるソフトウェアをインストールする必要があるかどうか指示されます。カメラの組み立てが必要になる場合もあります。

カメラ ドライバについて

お使いのカメラでドライバが必要な場合、Cisco Unified Video Advantage をインストールする前にドライバをインストールしてください。カメラのマニュアルを参照するか、システム管理者に問い合わせてください。



(注)

Cisco VT Camera III では、個別のドライバが必要ないため、カメラ ドライバをインストールする必要がありません。Cisco VT Camera III では、オペレーティング システムにあるカメラ ドライバを使用します。Cisco Unified Video Advantage ソフトウェアのインストールに進んでください。

始める前に

ディスクに 20 MB 以上の空き容量があることを確認します。



注意

ソフトウェアのインストールが完了するまで、カメラをシステムに接続しないでください。インストールが完了する前に接続すると、新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されます。ウィザードが表示された場合は、[Cancel] をクリックし、カメラの接続をはずし、インストールが完了してからカメラを接続します。

手順

- ステップ 1** 必要な場合は、カメラに付属のマニュアルに従ってカメラを組み立てます。
- ステップ 2** カメラがコンピュータに接続されていないことを確認します。
- ステップ 3** システム管理者から支給されたドライバインストーラをダブルクリックします。
- ステップ 4** インストーラの指示に従います。
- ステップ 5** 指示が表示された場合、またはドライバのインストールが完了した場合にのみコンピュータの USB ポートにカメラを接続します。
- ステップ 6** 次のような確認メッセージが表示されてから、カメラを使用してみます。
 - (Windows XP の場合) 一連のメッセージが表示されます。次のメッセージが表示されるまで待ちます。「Found New Hardware. Your new hardware is installed and ready to use.」
 - (Windows Vista の場合) 「Your devices are ready to use.」というメッセージが表示されるまで待ちます。
- ステップ 7** Cisco Unified Video Advantage をインストールします。「関連トピック」を参照してください。

トラブルシューティングのヒント

- ドライバソフトウェアをアンインストールまたは再インストールする必要がある場合は、カメラがコンピュータに接続されていないことを確認してから、作業を行ってください。

Cisco VT Camera の機能の詳細および使用方法については、次のマニュアルを参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/prod_installation_guides_list.html

- カメラのドライバが正しくインストールされていることを確認するには、[Start] > [My Computer] を選択して右クリックし、[Properties] を選択します。[Hardware] タブをクリックし、[Device Manager] を選択します。[Device Manager] ウィンドウで、[Imaging Devices] を展開し、カメラが表示されていることを確認します。表示されない場合は、正しくインストールされなかったため、再度インストールを行う必要があります。

関連トピック

- 「Cisco Unified Video Advantage のインストール」 (P.2-3)
- 「Cisco VT Camera II のドライバと Cisco Unified Video Advantage のアップデート」 (P.2-14)

Cisco Unified Video Advantage のインストール

システム管理者が Cisco Unified Video Advantage をユーザのコンピュータにインストールしていない場合は、ユーザが自分でインストールします。

始める前に

- Cisco Unified Video Advantage をインストールするには、管理者権限で Windows にログインする必要があります。
- ご使用のコンピュータがこの製品を使用するためのシステム要件を満たしていることを、システム管理者が確認する必要があります。
- Cisco Unified Video Advantage をインストールする前に、ビデオ カメラのドライバをインストールし（必要な場合）、カメラをシステムに接続します。



(注) Cisco Unified Video Advantage には、Cisco VT Camera II で必要なカメラ ドライバのインストールが含まれていません。Cisco Unified Video Advantage ソフトウェアをインストールする前にドライバソフトウェアをインストールしてください。



(注) Cisco VT Camera III では、個別のドライバが必要ないため、カメラ ドライバをインストールする必要がありません。Cisco VT Camera III では、オペレーティングシステムにあるカメラ ドライバを使用します。

- Cisco Unified IP Phone が社内のテレフォニー ネットワークに接続されていることを確認します。Cisco Unified IP Phone の電源を投入して通話ができれば、正しく接続されています。
- Cisco Unified IP Phone でビデオが有効になっていることを確認します。電話スクリーンのステータス行にビデオ アイコンが表示されれば、ビデオは有効になっています。
- Cisco Unified Video Advantage で Cisco Unified IP Phone を使用している場合は、標準イーサネット ケーブルを使用して Cisco Unified IP Phone の電話機の背面にある PC ポートにコンピュータを直接接続してください。この接続により、企業ネットワークへの直接接続も提供されます。ほとんどのコンピュータでは、イーサネット ケーブルがコンピュータに接続されている箇所に緑色の LED があるので、接続されていることを確認できます。
- Cisco Unified Video Advantage を Cisco IP Communicator と共に使用している場合は、Cisco IP Communicator Release 2.0 以降がシステムにインストールされていることを確認します。Cisco IP Communicator でビデオを使用する場合、Cisco IP 電話機との物理的な接続は不要です。

手順

- ステップ 1** 開いているすべてのアプリケーションを閉じて終了します。
- ステップ 2** Cisco Unified Video Advantage インストール プログラムが開始したら、ウィンドウに示されている指示に従ってインストールします。
- ステップ 3** システムの再起動を要求された場合は、[Yes] をクリックします。

関連トピック

- [「Cisco Unified Video Advantage の起動と終了」 \(P.2-4\)](#)
- [「Cisco VT Camera II のドライバと Cisco Unified Video Advantage のアップデート」 \(P.2-14\)](#)

Cisco Unified Video Advantage の起動と終了

始める前に

- 最適な結果を得るために、できる限り有線イーサネット接続で Cisco Unified Video Advantage を使用することをお勧めします。このソフトウェアは、300kbps/300kbps ブロードバンドリンク以上（500kbps を推奨）で接続された無線 LAN またはリモート無線 LAN で使用できます。社内の無線 LAN でビデオ コールを使用する際に、Cisco Unified Video Advantage と Cisco IP Communicator を一緒に使用すると音声品質が低下する可能性があるため、このような方法はサポートされていません。

このソフトウェアは、300kbps/300kbps 以上のブロードバンドリンク（上り 500kbps を推奨）に接続されたリモート無線 LAN で使用できます。

- Cisco Unified Personal Communicator のデスクフォン モードでは、ビデオ コールに Cisco Unified Video Advantage を使用できます。

手順

項目	動作
Cisco Unified Video Advantage が起動しているかどうかの確認	Windows デスクトップのシステムトレイで Cisco Unified Video Advantage アイコンを探します。
Cisco Unified Video Advantage の起動	次のいずれかの操作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> Windows のデスクトップから、[Start] > [Programs] > [Cisco Unified Video Advantage] > [Cisco Unified Video Advantage] を選択します。 クイック起動バーで Cisco Unified Video Advantage アイコンをクリックします。 Windows のデスクトップにある Cisco Unified Video Advantage アイコンをダブルクリックします。 アプリケーションが起動します。アプリケーションの初期化が完了するまで約 1 分待ってから、通話を行ってください。
Cisco Unified Video Advantage の終了	次のいずれかの操作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified Video Advantage コンソールで、[Video] > [Exit] を選択します。 システムトレイにある Cisco Unified Video Advantage アイコンを右クリックし、[Exit] を選択します。アプリケーションが終了します。
Cisco Unified Video Advantage コンソールを開く	Cisco Unified Video Advantage を起動してから、次のいずれかの操作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> システムトレイにある Cisco Unified Video Advantage アイコンを右クリックし、[Show Cisco Unified Video Advantage] を選択します。 Windows のデスクトップにある Cisco Unified Video Advantage アイコンをダブルクリックします。

関連トピック

- 「Cisco Unified Video Advantage ウィンドウの使用法」(P.2-5)
- 「Cisco Unified Video Advantage ウィンドウの使用法」(P.2-5)
- 「デバイス アソシエーション」(P.2-6)

Cisco Unified Video Advantage ウィンドウの使用法

- 「Cisco Unified Video Advantage のコンソール」 (P.2-5)
- 「コンソール ボタン」 (P.2-5)
- 「デバイス アソシエーション」 (P.2-6)
- 「ローカル ビデオ ウィンドウ」 (P.2-8)
- 「リモート ビデオ ウィンドウ」 (P.2-9)
- 「ビデオ ウィンドウのサイズ変更」 (P.2-10)
- 「その他のビデオ ウィンドウのコントロールの使用法」 (P.2-10)

Cisco Unified Video Advantage のコンソール




Cisco Unified Video Advantage のメイン ウィンドウつまりコンソールでは、カメラを電話デバイスに関連付けたり、ビデオのプリファレンスと設定を行ったり、オンライン ヘルプにアクセスしたりできます。



関連トピック

- 「コンソール ボタン」 (P.2-5)
- 「デバイス アソシエーション」 (P.2-6)
- 「Cisco Unified Video Advantage の設定の調整」 (P.2-11)

コンソール ボタン

コンソールには、Cisco Unified Video Advantage が関連付けしようとするデバイスの可用性と接続性の状態を示すボタンがあります。デバイスの可用性と接続性の状態を確認するには、アイコンの上にマウスのカーソルを置きます。デバイスが使用可能かどうか、または接続されているかどうかを示すメッセージが表示されます。

コンソール ボタン	説明
	Cisco IP Communicator の可用性と接続性の状態を示します。
	Cisco VT Camera の可用性と接続性の状態を示します。このボタンを使用して、カメラのオン/オフを切り替えることができます。カメラをオフにすると、ビデオの受信はできますが送信はできません。
	Cisco Unified IP Phone の可用性と接続性の状態を示します。

コンソール ボタン	説明
	Cisco IP Communicator を起動します。
	ローカルおよびリモートのビデオ チェック ウィンドウを起動します。

関連トピック

- 「デバイス アソシエーション」 (P.2-6)
- 「ローカル ビデオ ウィンドウ」 (P.2-8)
- 「リモート ビデオ ウィンドウ」 (P.2-9)
- 「Cisco Unified Video Advantage の設定の調整」 (P.2-11)

デバイス アソシエーション

最初のインストール後にアプリケーションを初めて起動すると、Cisco Unified Video Advantage はまず Cisco IP Communicator を検索し、関連付けを試みます。Cisco IP Communicator が使用できない場合は、ビデオ対応の Cisco Unified IP Phone に関連付けます。Cisco Unified Video Advantage は、一度に 1 台の電話だけと関連付けを行うことができます。

図 2-1 は、Cisco IP Communicator に関連付けられた Cisco Unified Video Advantage を示しています。Cisco Unified Video Advantage を Cisco IP Communicator に接続すると、緑色の実線で 2 つのボタンが結ばれ、ボタンが表示されて押せるようになります。

図 2-1 Cisco IP Communicator に接続された Cisco Unified Video Advantage



図 2-2 は、Cisco Unified IP Phone に関連付けられた Cisco Unified Video Advantage を示しています。Cisco Unified Video Advantage を Cisco Unified IP Phone に接続すると、緑色の実線で 2 つのボタンが結ばれ、ボタンが表示されて押せるようになります。

図 2-2 Cisco Unified IP Phone に接続された Cisco Unified Video Advantage



ラップトップ コンピュータで Cisco Unified Video Advantage を実行しており、そのコンピュータをドッキングステーションからドック解除した場合、Cisco IP Communicator は自動的に を検索して関連付けを行います。

Cisco Unified IP Phone を優先デバイスとして指定している場合は、ワークステーションに戻ってラップトップを再びドッキングすると、Cisco Unified Video Advantage は自動的に再びそのデバイスとの関連付けを行います。

優先デバイスは、[Video] > [Preferred Device] で変更できます。この優先デバイスは、実際に存在していてもかまいません。優先デバイスを選択すると、コンソール ウィンドウにボタンが表示されて押せるようになります (ただし、グレイアウトされている場合もあります)、最初に接続を試みる優先デバイスとの間に実線が表示されます。優先デバイスが存在しない場合、Cisco Unified Video Advantage は別のデバイスへの接続を試みます。いずれのデバイスも使用できない場合、優先デバイスとの間に破線が表示されます。

関連トピック

- 「Cisco Unified Video Advantage の設定の調整」 (P.2-11)
- 「接続問題のトラブルシューティング方法」 (P.4-4)

ローカル ビデオ ウィンドウ

ローカル ビデオ ウィンドウには、通話中に自分のライブ ビデオが表示されます。このウィンドウは、通話中に相手に対して自分の画像がどのように表示されるかを示しています。



1	カメラのオンとオフ（カメラの状態に応じてアイコンが変化）	ライブ ビデオを一時停止します。
2	全画面モード	全画面を使用して、ビデオ ウィンドウを表示します。
3	設定メニュー	ビデオ ウィンドウおよびカメラの設定ウィンドウを表示します。
4	ビデオ信号品質	ビデオ信号品質を表示します。
5	ステータスバー	ステータス メッセージを表示します。

関連トピック

- 「ビデオ ウィンドウのサイズ変更」 (P.2-10)
- 「その他のビデオ ウィンドウのコントロールの使用法」 (P.2-10)
- 「Cisco Unified Video Advantage の設定の調整」 (P.2-11)

リモート ビデオ ウィンドウ

リモート ビデオ ウィンドウには、リモート発呼者のカメラから送られたライブ ビデオが表示されます。このウィンドウには発呼者が表示されます。



1	全画面モード	全画面を使用して、ビデオ ウィンドウを表示します。
2	設定メニュー	ビデオ ウィンドウおよびカメラの設定ウィンドウを表示します。
3	ビデオ信号品質	ビデオ信号品質を表示します。
4	ステータスバー	ステータス メッセージを表示します。

関連トピック

- 「ビデオ ウィンドウのサイズ変更」 (P.2-10)
- 「その他のビデオ ウィンドウのコントロールの使用法」 (P.2-10)
- 「Cisco Unified Video Advantage の設定の調整」 (P.2-11)

ビデオ ウィンドウのサイズ変更

項目	動作
ローカル ビデオ ウィンドウのサイズ調整	<p>ウィンドウの隅をドラッグして、希望するサイズに変更します。</p> <p>または、ローカル ビデオ ウィンドウの下部にあるステータス バーで、設定ニュー アイコンをクリックし、次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Quarter-size] • [Half-size] • [Normal-size] • [Double-size] • [Full Screen]
リモート ビデオ ウィンドウのサイズ調整	<p>ウィンドウの隅をドラッグして、希望するサイズに変更します。</p> <p>または、リモート ビデオ ウィンドウの下部にあるステータス バーで、設定メニュー アイコンをクリックし、次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Quarter-size] • [Half-size] • [Normal-size] • [Double-size] • [Full Screen]

その他のビデオ ウィンドウのコントロールの使用法

[Preferences] メニューは、ローカルおよびリモートのビデオ チェック ウィンドウで使用できます。コンソールで、[Video] > [Video Check] を選択します。ローカルおよびリモートのビデオ チェック ウィンドウが表示されたら、次の方法で [Preferences] メニューにアクセスできます。




- 設定メニュー アイコンをクリックする。
- ローカルまたはリモート ビデオ チェック ウィンドウで右クリックする。
- Shift+F10 を押す。

項目	動作
ビデオ ウィンドウの最小化	[Preferences] > [Minimize] を選択します。
ビデオ ウィンドウの下にあるツールバーの削除	デフォルトでは、ツールバーが表示されます。ツールバーを削除するには、[Preferences] > [Show Toolbar] を選択解除します。
コンソールの表示	[Preferences] > [Show Console] を選択します。

Cisco Unified Video Advantage の設定の調整

設定を調整するには、Cisco Unified Video Advantage コンソールを開きます。コンソールを開く方法については、「[Cisco Unified Video Advantage の起動と終了](#)」(P.2-4)を参照してください。


項目	動作
[Camera On]	<p>デフォルトで有効になっており、Cisco Unified Video Advantage はビデオを送信できます。</p> <p>カメラを無効にするには、[Video] > [Camera On] を選択解除します。</p>
[Preferred Device]	<p>優先デバイス (Cisco IP Communicator または Cisco Unified IP Phone) を選択し、ビデオを送信 ([Video] > [Preferred Device]) できます。実際にそのデバイスが存在していなくてもかまいません。</p> <p>優先デバイスの1つをオンにすると、Cisco Unified Video Advantage とそのデバイスのアソシエーションが有効になります。別のデバイスを選択すると、Cisco Unified Video Advantage は新しいデバイスへの関連付けに変更します。この設定は保存され、次の Cisco Unified Video Advantage セッションに適用されます。</p>
[Video Check]	<p>通話をしていないときに、ビデオ ウィンドウの動作を確認できます。</p> <p>ビデオ チェックを開始するには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンソールの右側にある [Video Check] をクリックします。 • [Video] > [Video Check] を選択します。ビデオ ウィンドウが動作していない場合は、「Cisco Unified Video Advantage のトラブルシューティング」の項を参照してください。 <p>ビデオ チェックを停止するには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ウィンドウの右上隅にある「閉じる」ボタンをクリックします。 • 再び [Video Check] をクリックします。 • [Video] > [Video Check] を再度選択します。
[Mute Video on Audio Mute]	<p>この設定のオン/オフを切り替えるには、[Settings] > [Mute Video on Audio Mute] を選択します。</p> <p>この設定をオンにした状態で Cisco Unified IP Phone の音声を消音にした場合、その電話で音声の消音を解除するまで、ビデオは自動的に一時停止し、ビデオ無効アイコンが表示されます。</p>
[This Window Always on Top]	<p>この設定のオン/オフを切り替えるには、[Settings] > [This Window Always on Top] を選択するか、[Video] > [Video Check] を選択し、ローカルまたはリモート ビデオ ウィンドウで、[Preferences] > [Always on Top] を選択します。</p> <p>この設定を有効にした場合、Cisco Unified Video Advantage コンソールは常に、システムでアクティブな他のアプリケーションよりも前面に表示されます。</p>
[Show System Tray Messages]	<p>デフォルトでは、有効になっています。システム トレイの情報メッセージを無効にするには、[Settings] > [Show System Tray Messages] を選択解除します。</p>

項目	動作
[Camera...]	<p>1. カメラの設定を変更するには、[Settings] > [Camera] を選択します。</p> <p>2. ドロップダウンメニューからカメラの名前を選択します。</p> <p> (注) Windows XP では一般に、Cisco VT Camera III の名前はカメラ選択のドロップダウンメニューに [USB Video Device] と表示されます。Cisco VT Camera III を使用するには、[USB Video Device] を選択します。</p> <hr/> <p>明るさやコントラストなども調整できます。デフォルト設定に戻すには、[Cancel] をクリックします。</p> <p> (注) [Camera Settings] ウィンドウが開いた状態で、カメラを接続すると、カメラリストはすぐに更新されません。カメラリストに新しいカメラを表示するには、[Camera Settings] ウィンドウを閉じて、再度開きます。</p>
[Video Quality...]	<p>[Settings] > [Video Quality] を選択します。</p> <p> 注意 ビデオ画質設定はシステム管理者が設定し、デフォルトでは [Automatic] チェックボックスがオンになっています。LAN を使用して作業を行う場合、通常この設定を変更する必要はありません。ただし、モバイル機器を使用している従業員または在宅勤務社員は、インターネット接続のアップリンク接続に基づいて、帯域幅設定の制限を最大レートにする必要が生じることがあります。アップリンク速度を調べる方法がわからない場合は、ビデオ画質設定を変更する前に、インターネットサービスプロバイダーまたはシステム管理者に問い合わせてください。</p> <hr/> <p>[Automatic] を選択解除してから、スライダを使用して設定を調整します。リモート接続が確立されている場合は、ネットワーク使用率が低くなるように調整する必要が生じることがあります。高速接続が確立されている場合は、ビデオ画質を高くするように調整できます（通話中は、このオプションを使用できません。この設定は、通話の前または後に設定します）。</p> <p>(注) 社内 LAN に再接続する場合は、通話を行う前に帯域幅をデフォルトにリセットしてください。</p>
[Enable Detailed Logs]	<p>デフォルトでは、無効になっています。この設定のオン/オフを切り替えるには、[Settings] > [Enable Detailed Logs] を選択します。</p> <p>詳細ログによってパフォーマンスが低下する可能性があるため、詳細ログが不要になり次第、無効にします。</p>

項目	動作
[Video Confirmation]	<p>デフォルトでは無効になっており、確認は表示されません。また、電話が関連付けられていてカメラが存在する場合、通話時にビデオが流れません。この設定は、ローカル ビデオにのみ適用されます。この設定は保存され、次の Cisco Unified Video Advantage セッションに適用されます。</p> <p>この設定のオン/オフを切り替えるには、[Settings] > [Video Confirmation] を選択します。</p> <p>有効になっている場合、Cisco Unified Video Advantage はローカル ウィンドウのステータスバーにメッセージを表示し、システム トレイにバブル ツールチップを表示します。コンソールまたはローカル ビデオ ウィンドウからカメラをオンにした場合、ユーザはこの表示によってビデオが他のエンドポイントに流れることを確認できます。また、ローカル ビデオ ウィンドウにはビデオ無効アイコンが表示されます。通話中のどの時点でも、カメラを起動してビデオを送信することができます。</p> <p>設定に関係なく、次のような状況ではビデオは送信できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • システムのスクリーンセーバがアクティブになっている。 • システムがロックされている。 • ビデオ コールの途中でシステムをロックした。 <p>スクリーンセーバがアクティブになっていないとき、またはシステムのロックを解除したときに、手動でビデオの送信を開始する ([Video] > [Camera On] を選択するか、ローカル ビデオ ウィンドウでカメラ ボタンをクリックする) 必要があります。</p>

Cisco Unified IP Phone のビデオ コール用設定の確認

Cisco Unified Video Advantage で Cisco Unified IP Phone を使用するには、ビデオ コール用に電話を設定する必要があります。

アイコン	説明
	<p>Cisco Unified IP Phone の画面のステータス行に表示され、電話がビデオ コール用に設定されていることを示します (このアイコンの外観は、Cisco Unified IP Phone モデルによって多少異なる場合があります)。このアイコンは Cisco IP Communicator がビデオ コール用に設定されている場合にも表示されます。</p> <p>このアイコンが表示されない場合は、システム管理者に問い合わせてください。</p>

関連トピック

- [第3章「Cisco Unified Video Advantage での Cisco Unified IP Phone の使用方法」](#)

Cisco VT Camera II のドライバと Cisco Unified Video Advantage のアップデート

Cisco Unified Video Advantage のアップデートと Cisco VT Camera II のドライバのアップデートは、別々のインストール パッケージとして入手できます。

アップデート中、インストーラによって以前のバージョンのアプリケーションまたはカメラのドライバがアンインストールされます。その後、新しいバージョンのアプリケーションまたは Cisco VT Camera II のドライバがインストールされます。Cisco Unified Video Advantage の設定は保持されます。



(注)

Cisco VT Camera III ではドライバを個別にインストールする必要はありません。Cisco VT Camera III では、オペレーティング システムにあるドライバを使用します。

始める前に

Cisco Unified Video Advantage をアップデートすると、Cisco VT Camera のドライバが削除されます。このため、Cisco Unified Video Advantage をアップデートした後、カメラのドライバを再インストールする必要があります。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified Video Advantage を終了します。
- ステップ 2 カメラの接続をはずします。
- ステップ 3 ソフトウェアをインストールし、Cisco Unified Video Advantage をアップデートします。
- ステップ 4 カメラのドライバをインストールします。
- ステップ 5 カメラを接続します。

関連トピック

- [「ビデオ カメラの準備」 \(P.2-1\)](#)
- [「Cisco Unified Video Advantage のインストール」 \(P.2-3\)](#)



CHAPTER 3

Cisco Unified Video Advantage での Cisco Unified IP Phone の使用方法

この章では、Cisco IP Communicator または Cisco Unified IP Phone で、ビデオと共に使用可能ないくつかのコール機能の使用方法を説明します。

Cisco IP Communicator または Cisco Unified IP Phone を通常どおり使用します。Cisco Unified IP Phone の完全な使用方法については、次のサイトでご使用のモデルの電話ガイドを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

受信側と発信側でビデオ電話を利用できる場合であっても、すべての通話でビデオが表示されるとはかぎらないことに注意してください。ビデオが利用できるかどうかは、ネットワークとシステムの状態によります。

- 「通話の発信と受信」 (P.3-2)
- 「電話会議」 (P.3-3)
- 「通話の転送」 (P.3-3)
- 「通話の自動転送」 (P.3-4)
- 「保留と消音の使用法」 (P.3-4)
- 「パークされた通話の保存と再開」 (P.3-5)
- 「呼び出し通話のリダイレクト」 (P.3-5)



(注)

上記の電話機能を使用する前に、システムで Cisco Unified Video Advantage が起動されていることを確認してください。詳細については、「Cisco Unified Video Advantage の起動と終了」 (P.2-4) を参照してください。



(注)

Cisco Unified Video Advantage では、ソフトフォン モードで稼働している Cisco Unified Personal Communicator のビデオ コールもサポートします。

通話の発信と受信

始める前に

無線環境にある Cisco Unified Video Advantage でビデオ コールを発信可能な場合がありますが、これはサポートされている機能ではありません。

手順

項目	動作
ビデオ コールの発信	Cisco Unified IP Phone で、通常どおりにコールを発信します。 システムにローカル ビデオ ウィンドウとリモート ビデオ ウィンドウが表示されます。ローカル ビデオ ウィンドウに自分が表示されます。通話相手がビデオ対応の電話を使用している場合は、リモート ビデオ ウィンドウに通話相手が表示されます。
ビデオ コールの受信	Cisco Unified IP Phone で、通常どおりに電話に出ます。 システムにローカル ビデオ ウィンドウとリモート ビデオ ウィンドウが表示されます。ローカル ビデオ ウィンドウに自分が表示されます。通話相手がビデオ対応の電話を使用している場合は、リモート ビデオ ウィンドウに通話相手が表示されます。



ヒント

システム設定によっては、通話中に Cisco Unified Video Advantage を起動した場合、相手側にビデオ コール機能がある限り、その通話はビデオ コールになります。

トラブルシューティングのヒント

- [Video] > [Camera-on] が無効になっていて、コールを発信する場合：
 - カメラオン機能を無効にしている場合、コールを発信したときに、リモート ビデオ ウィンドウに通話相手が表示されます。ローカル ビデオ ウィンドウにはビデオ無効アイコンが表示されます。
 - 通話相手がカメラオン機能を無効にしている場合、コールを発信したときに、ローカル ビデオ ウィンドウに自分が表示されます。リモート ビデオ ウィンドウにはビデオ無効アイコンが表示されます。
- [Video] > [Camera-on] が無効になっていて、コールを受信する場合：
 - カメラオン機能を無効にしている場合、コールを受信したときに、リモート ビデオ ウィンドウに発呼者が表示されます。ローカル ビデオ ウィンドウにはビデオ無効アイコンが表示されます。
 - 発呼者がカメラオン機能を無効にしている場合、コールを受信したときに、ローカル ビデオ ウィンドウに自分が表示されます。リモート ビデオ ウィンドウにはビデオ無効アイコンが表示されます。
- ビデオの確認が有効になっている場合は、ローカル ウィンドウにもビデオ無効アイコンが表示されます。

関連トピック

- 「電話会議」 (P.3-3)
- 「通話の転送」 (P.3-3)

- 「通話の自動転送」 (P.3-4)
- 「保留と消音の使用法」 (P.3-4)
- 「パークされた通話の保存と再開」 (P.3-5)
- 「呼び出し通話のリダイレクト」 (P.3-5)

電話会議

項目	動作
電話会議	<p>Cisco Unified IP Phone で、電話会議を開始します。</p> <p>システムにローカル ビデオ ウィンドウとリモート ビデオ ウィンドウが表示されます。</p> <p>Cisco Unified Video Advantage を使用しているすべての会議参加者は、ビデオ コールに参加できます。Cisco Unified Video Advantage を使用していない参加者は、音声のみの参加になります。</p> <p>リモート ビデオ ウィンドウに表示されるビデオは、IP テレフォニー ネットワークでのビデオ会議の設定によって異なります。利用できるビデオ会議の種類については、システム管理者に問い合せてください。</p>

関連トピック

- 「通話の発信と受信」 (P.3-2)
- 「保留と消音の使用法」 (P.3-4)

通話の転送

項目	動作
通話の転送	<p>Cisco Unified IP Phone で、通常どおりに通話を転送します。</p> <p>システムの動作は、ブラインド転送または打診転送のいずれを行うかによって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブラインド転送：システムのビデオ ウィンドウが閉じます。 • 打診転送：電話を受けた相手がシステムのリモート ビデオ ウィンドウに表示されます。通話が転送されると、ビデオ ウィンドウが閉じます。

関連トピック

- 「通話の発信と受信」 (P.3-2)
- 「通話の自動転送」 (P.3-4)
- 「保留と消音の使用法」 (P.3-4)

通話の自動転送

項目	動作
通話の自動転送	Cisco Unified IP Phone で、通常どおりに通話を自動転送します。 システムのビデオ ウィンドウが閉じます。

関連トピック

- 「通話の発信と受信」 (P.3-2)
- 「通話の転送」 (P.3-3)
- 「保留と消音の使用法」 (P.3-4)

保留と消音の使用法

項目	動作
通話の保留	Cisco Unified IP Phone で、通常どおりに通話を保留します。 システムのビデオ ウィンドウが閉じます。 保留を解除するときは、通常どおりに電話で通話を再開します。 システムに、ビデオ ウィンドウが再表示されます。
音声の消音	Cisco Unified IP Phone で、通常どおりに通話を消音します。 [Mute Video on Audio Mute] 設定がオンになっている場合、システムのローカル ビデオ ウィンドウのビデオは静止フレームで一時停止します。それ以外の場合は、ローカル ビデオ ウィンドウのビデオは引き続き表示されます。リモート ビデオ ウィンドウのビデオは変更されません。 消音を終了するには、通常どおりに電話で音声の消音を解除します。ビデオを一時停止してあった場合は、システムのビデオが再開します。
電話機消音時にビデオを停止	システムの Cisco Unified Video Advantage コンソールで、[Settings] > [Mute Video on Audio Mute] を選択します。 Cisco Unified IP Phone で音声を消音すると、音声の消音を解除するまで、ビデオは静止フレームで自動的に一時停止します。

関連トピック

- 「通話の発信と受信」 (P.3-2)
- 「電話会議」 (P.3-3)
- 「通話の転送」 (P.3-3)

パークされた通話の保存と再開

項目	動作
通話のパーク	Cisco Unified IP Phone で、通常どおりに通話をパークします。 システムのビデオ ウィンドウが閉じます。
パークした通話の再開	Cisco Unified IP Phone で、通常どおりにパークされた通話を再開します。電話にビデオ アイコンが表示され、電話がビデオ対応のシステムに接続されていると、システムにローカル ビデオ ウィンドウとリモート ビデオ ウィンドウが表示されます。それ以外の場合は、通常通話と同様に動作します。

関連トピック

- 「通話の発信と受信」 (P.3-2)

呼び出し通話のリダイレクト

項目	動作
グループ内の別の内線にかかってきた通話の受信	Cisco Unified IP Phone で、通常どおりに [Pickup] を使用します。 システムにローカル ビデオ ウィンドウとリモート ビデオ ウィンドウが表示されます。
グループ外の別の内線にかかってきた通話の受信	Cisco Unified IP Phone で、通常どおりに [GPickUp] を使用します。 システムにローカル ビデオ ウィンドウとリモート ビデオ ウィンドウが表示されます。

関連トピック

- 「通話の発信と受信」 (P.3-2)

■ 呼び出し通話のリダイレクト



CHAPTER 4

Cisco Unified Video Advantage のトラブルシューティング

- 「ビデオの問題の解決方法」(P.4-1)
- 「通話中に音声聞こえない問題」(P.4-4)
- 「ブート中の Microsoft Windows のハング問題」(P.4-4)
- 「接続問題のトラブルシューティング方法」(P.4-4)
- 「システム管理者用の情報の入手方法」(P.4-5)



(注) ご使用のコンピュータが、Cisco Unified Video Advantage とビデオ カメラをネットワークで使用するための最小システム要件を満たしていることをシステム管理者に確認してください。

ビデオの問題の解決方法

- 「ビデオ ウィンドウにビデオが表示されず、空白の画面にビデオ無効アイコンが表示される」(P.4-2)
- 「リモート ビデオ ウィンドウの画像が二重になっている、またはゆがんでいる」(P.4-2)
- 「Cisco Unified IP Phone の LCD 画面に「ビデオ帯域幅が使用できません」というメッセージが表示される」(P.4-3)
- 「システム トレイにビデオ問題のアイコンが表示される」(P.4-3)
- 「ビデオ ウィンドウに低信号強度が示される」(P.4-3)

カメラ設定の一部がグレイアウトされてしまうのはなぜですか

Cisco VT Camera III などの USB Video Camera (UVC; USB ビデオ カメラ) ドライバを使用するカメラでは、ドライバで定義された設定のみが表示されます。これは、さらにオペレーティング システムによっても決定されます。

ビデオ ウィンドウにビデオが表示されず、空白の画面にビデオ無効アイコンが表示される

問題 システムで、ビデオ ウィンドウにビデオが表示されず、空白の画面にビデオ無効アイコンが表示される

解決策 次の解決策を試してください。

- Cisco Unified Video Advantage コンソールを開き、次のことを実行します。
 - ローカル ビデオ ウィンドウのステータスバーのメッセージを確認します。このメッセージには、カメラの接続がはずれていること、カメラが低輝度状態であること、カメラを有効にする必要があることが示されます。
 - ビデオの確認機能 ([Settings] > [Video Confirmation]) を有効にしていないこと、システムのスクリーンセーバがアクティブでないこと、システムがロックされていないこと、通話中にシステムをロックしていないことを確認します。
 - [Video] > [Video Check] のオン/オフを切り替えて、ビデオ チェックを実行します。正常であれば、ローカル ビデオ ウィンドウとリモート ビデオ ウィンドウが表示され、カメラに緑のランプが点灯します (上面のカメラ レンズの上)。終了後は、[Video] > [Video Check] のオン/オフを再び切り替えます。
 - ビデオがミュートになっていないことを確認します。
 - 電話とカメラの接続状態とビデオ信号品質を確認します。
 - 通話がアクティブである場合は、Cisco Unified IP Phone を保留にしてから、通話を再開します。
- カメラの USB ケーブルがシステムの USB ポートに正しく接続されていることを確認します。
- カメラが USB ハブに接続されている場合、ハブに電力が供給されていることを確認します。
- Cisco IP Communicator を使用している場合は、リリース 2.0 以降がシステムにインストールされ実行されていることを確認します。
- システムが、Cisco Unified IP Phone の背面にあるシステム ポートに直接接続されていることを確認します。
- Cisco Unified IP Phone がビデオに対応しているかどうかを確認します。電話スクリーンでビデオアイコンを探します。
- コンピュータのビデオ カード ドライバが、オペレーティング システムに対応した最新のものであることを確認します。必要に応じて、システム管理者に問い合わせてください。
- Cisco IP Communicator を使用しており、ブロードバンド接続経由で通話している場合は、Cisco Unified Video Advantage で [Settings] > [Video Quality] を選択します。[Automatic] をオフにして、ビデオ画質が改善するまでスライダを [Lower Network Use] の方に移動します。

関連トピック

- 「[接続問題のトラブルシューティング方法](#)」(P.4-4)

リモート ビデオ ウィンドウの画像が二重になっている、またはゆがんでいる

問題 リモート ビデオ ウィンドウの画像が二重になっている、またはゆがんでいる


解決策 これは、ブロードバンド接続でのパケット損失が原因です。[Settings] > [Video Quality] を選択します。[Video Quality] ウィンドウで、[Automatic] を選択解除して [OK] をクリックします。帯域幅が自動的に 125kbps にリセットされます。ほとんどの通話は、この帯域幅で十分です。通話を再試行します。

Cisco Unified IP Phone の LCD 画面に「ビデオ帯域幅が使用できません」というメッセージが表示される

問題 Cisco Unified IP Phone の LCD 画面に「ビデオ帯域幅が使用できません」というメッセージが表示される

解決策 ビデオ コール用としては帯域幅が不十分です。システム管理者に問い合わせてください。

システム トレイにビデオ問題のアイコンが表示される

問題 システムのシステム トレイにビデオ問題のアイコン  が表示される

解決策 ビデオ接続に問題のある可能性があります。

- サポートされているカメラ用のカメラ ドライバがインストールされていることを確認します。
 - カメラのドライバが正しくインストールされていることを確認するには、[Start] > [My Computer] を選択して右クリックし、[Properties] を選択します。[Hardware] タブをクリックし、[Device Manager] を選択します。[Device Manager] ウィンドウで、[Imaging Devices] を展開し、カメラが表示されていることを確認します。表示されない場合は、正しくインストールされなかったため、再度インストールを行う必要があります。
- カメラがコンピュータの USB 2.0 ポートに正しく接続されていることを確認します。

関連トピック

- 「[ビデオ カメラの準備](#)」(P.2-1) (トラブルシューティングのヒント)
- 「[接続問題のトラブルシューティング方法](#)」(P.4-4)

ビデオ ウィンドウに低信号強度が示される

問題 インジケータが低信号強度を示している



解決策 ローカル ビデオ ウィンドウまたはリモート ビデオ ウィンドウを開きます。ビデオ信号品質インジケータは、各ウィンドウの下部にあります (このビデオ信号品質インジケータは、携帯電話の信号強度インジケータと同じようなものと考えてかまいません)。

バー全体が緑色の場合は、信号品質が最も高いことを示しています。バー全体が灰色の場合は、信号品質が最も低いことを示しています。ビデオ信号品質は、ネットワークの状態とシステムの状態の両方の影響を受け、時間の経過によって変動します。インジケータの大部分が緑色で表示されている場合は、比較的高い品質のビデオが表示されます。インジケータの大部分が灰色で表示されている場合、ビデオの品質は低くなります。

通話中に音声聞こえない問題

問題 通話中に音声聞こえない

解決策 Cisco Unified IP Phone で音声消音されていないことを確認します。

ブロードバンド接続の場合は、ビデオ画質の設定を下げます。[Settings] > [Video Quality] を選択します。[Video Quality] ウィンドウで、[Automatic] を選択解除して [OK] をクリックします。帯域幅が自動的に 125kbps にリセットされます。ほとんどの通話は、この帯域幅で十分です。通話を再試行します。

Cisco VPN クライアント ソフトウェアを通じて接続しているモバイル ユーザの場合は、ステートフル ファイアウォールの設定がオフ（無効）になっていることを確認します。

ブート中の Microsoft Windows のハング問題

問題 コンピュータのブート中に、Microsoft Windows がハングする

解決策 使用している USB ハブに電源が入っており、複数のデバイスが接続されていることを確認します。確認したら、USB ハブの接続をはずし、システムをリブートし、システムのブート後に再びハブに接続します。

接続問題のトラブルシューティング方法

- 「コンソール ウィンドウの接続線が破線になっている」 (P.4-4)
- 「Cisco Unified Video Advantage が Cisco IP Communicator に接続できない」 (P.4-5)

コンソール ウィンドウの接続線が破線になっている

問題 Cisco VT Camera アイコンと Cisco IP Communicator アイコンの間、または Cisco Unified IP Phone アイコン間の接続線が破線で表示されている

解決策 Cisco Unified IP Phone や Cisco VT Camera への接続が確立していません。

- 選択した電話デバイスで通話を発信していることを確認します。
- 物理的な電話機を使用している場合は、システムのイーサネット ケーブルが、電話機の背面にあるシステム ポートに直接接続されていることを確認します。
- Cisco Unified IP Phone でビデオが有効になっていることを確認します。詳細については「関連トピック」を参照してください。

関連トピック

- 「Cisco Unified IP Phone のビデオ コール用設定の確認」 (P.2-13)

Cisco Unified Video Advantage が Cisco IP Communicator に接続できない

問題 Cisco Unified Video Advantage が Cisco IP Communicator に接続できない

解決策 次の解決策を試してください。

- Cisco IP Communicator でビデオが有効になっていることを確認します。Cisco IP Communicator でビデオが有効になっていない場合は、システム管理者に問い合わせてください。システム管理者に問い合わせて、Cisco IP Communicator が呼制御プロトコルとして SIP を使用していないことを確認してもらいます。これは、SIP が Cisco Unified Video Advantage と相互運用できないためです。
- 適切な Cisco VPN クライアント ソフトウェアを使用していることを確認します。システム管理者に問い合わせてください。

システム管理者用の情報の入手方法

Cisco Unified Video Advantage で問題が発生した場合、システム管理者から次の作業のいずれか、または両方を指示されることがあります。

- 「ログ ファイルのキャプチャ」(P.4-5)
- 「詳細ログを有効にする」(P.4-6)

ログ ファイルのキャプチャ

手順

-
- ステップ 1** デスクトップで、CUVA で始まりその後に英数字の文字列が続く名前の .zip ファイルを探します。このファイルが自動生成されていない場合は、次の手順で作成します。
- a. 詳細ログを有効にします。[Settings] > [Enable Detailed Logs] を選択します。
 - b. 次のいずれかの作業を実行します。
 - [Help] > [Create Problem Report] を選択します。
 - [Start] > [All Programs] > [Cisco Unified Video Advantage] > [Cisco Unified Problem Reporting Tool] を選択します。
 - c. 表示される指示に従います。[Finish] をクリックする前に、デスクトップに作成されたファイルの名前を確認します。
- ステップ 2** 次の情報を含んだ E メールを作成します（特にシステムで問題レポートが自動生成された場合）。
- 問題の説明
 - 問題が発生したときに行っていた作業の説明
 - 状況に影響した可能性のある、その他の詳細情報
- ステップ 3** 生成されたファイルと関連情報をシステム管理者に E メールで送信します。さらにログ ファイルが必要な場合は、システム管理者からログ ファイルの場所が伝えられます。
-

関連トピック

- 「[詳細ログを有効にする](#)」 (P.4-6)

詳細ログを有効にする

Cisco Unified Video Advantage の使用中に問題が発生し、システム管理者から指示された場合は、詳細ログを有効にします。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Video Advantage コンソールを開きます。
- ステップ 2** [Settings] > [Enable Detailed Logs] を選択します。
再起動しても、変更するまでこの設定は保持されます。
-



(注) 詳細ログによってパフォーマンスが低下する可能性があるため、詳細ログが不要になり次第、無効にします。詳細ログを無効にするには、有効にするときと同じ手順を実行します。
